

厳島神社臨む学びの場

宮島セミナーハウス

せいふうかん

「成風館」完成

完成

広島経済大学 広報

発行所
広島経済大学
広島市安佐南区祇園
五丁目37番1号
郵便番号731-0192
電話番号(082)871-1000代
ホームページhttp://www.hue.ac.jp/

2面 広島経済大学が掲げる3つの教育方針
3面 保護者役員会／大学説明会開催
4面 興動館プロジェクト活動報告
5面 高校生のためのラジオ活動開催
6面 留学雑誌／学生表彰／奨学生決定
7面 キャリアセンター就職情報／公開講座のお知らせ
8面 平成24年度学生募集要項

立地活かし幅広く活用

学生の「人間力」を育む場に

8月1日、宮島の商業施設だった建物を本学のセミナーハウス「成風館」に改装する工事が完了した。鉄骨造、瓦葺屋根の3階建、落ち着いた佇まいをみせる建物は、観光客で賑わう厳島神社表参道商店街の入り口近くに建つ。ゼミナールやサークルの合宿、教職員の研究会、研修会などのほか、学生のプロジェクト活動や地元の方をはじめ、一般の方々への貸し出しなど幅広い活用が予定されている。

セミナーハウス「成風館」室、応接室のほか、食事用のラウンジ、パウダールーム、シャワールームなどが完備されている。約250

人を収容でき、1000人の宿泊が可能だ。公共交通機関を利用して行けるので、学生も利用しやすい。光

熱水費などの諸経費も含め、1泊学生1人8000円。予定と割を、ゼミナールやサークルの合宿に気軽に使える。畳の部屋で教員と学生が、また学生同士が膝を突き合わせ、夜を徹して語り合う。そんな人間関係を深める場として重宝されるだろう。

一方で職員や教員の研修会、研究会などにも活用する。宮島という地理的な魅力も手伝って、研究会などには多くの参加者が集まること期待される。

また、1階は一般開放し、広島の魅力をアピールする学生の作品を展示する計画がある。また、地元住民によるイベントへの貸し出しや、企業の会議室、セミナールームとしての利用なども検討している。

中国運輸局との連携の拠点に

ゼミナールハウスのある宮島は世界文化遺産の厳島神社があり、日本三景の島でもある。国内外から観光客が集まるという環境は、学生に新たな学びのチャンスをもたらすはずだ。観光客

平成23年5月31日、川村毅先生が理事・評議員を退任した。川村先生は、昭和61年10月、本学に就任。その後昭和62年に評議員、平成5年に理事、平成11年に専務理事に就任し、学内でも活躍し、学外においても活躍し、大きな功績を残している。退任後は、引き続き学園



川村毅学園顧問

川村毅専務理事退任

顧問として6月1日付で就任。今後本学園のアドバイザーを務める。

私は旧制度の大学から、この道一筋60年の経験を重ね、この24年間の経験と、素直に、中国地区で唯一の経済大学である石田学園に、言に尽きるものでした。

石田学園は、明治40年、校祖石田米助翁によって、建学の精神を聖徳太子の17条憲法第一条の(和を以て貴しとなす)を基本理念とし、爾来幾多の変遷を経、第四代石田成夫理事長

によって、地域・経済・文化・教育・スポーツ活動などの発展に寄与。地域の活性化と幅広い人材の育成を念頭に、中国地区で唯一の経済専門の私立大学として、石田学園広島経済大学は設立されました。充足の当初は経済学部経済学科の一学科のみでスタートでしたが、爾来社会の変化に対応し、常に先見性・的確な判断・決断によって、学園の環境整備の面で

士・博士の大学院をはじめ、時代に適応したユニークな経営学科、ビジネス情報学、メディア、さらにスポーツ経営学科なども教職員の情熱ある教育指導の一語に尽きると

は、教育棟、研究室、図書館、学生会館、スポーツ施設、さらに興動館、成風館(宮島)など、わが国を代表する新しい時代に相応しい風格を備えているといえます。

学生にやる気の意欲を引き起こすのは、なんといっても教職員の情熱ある教育指導の一語に尽きると

今後、大学を取りまく環境は層層厳しくなることが予想されます。石田学園広島経済大学を構成する皆さんがより一層団結し、充実発展に努力されることを期待しています。

平成23年7月
学校法人石田学園
顧問 川村 毅



室内からは美しい厳島神社を見ることができる

観光を通して地域活性化を目指す

中国運輸局との連携協定締結

平成23年4月26日、本学は中国運輸局と観光振興を目的とした連携協定を締結した。これは中国地方や瀬戸内海地域への観光客誘致を図り、より豊かな地域社会の創造をめざす取り組みである。相互に人的、物的、知的な支援を行い、観光事業などを活性化させていく。



中国運輸局との締結の様子

具体的な取り組みとして、現在、進行しているのが「若旅。推進プロジェクト」。この数年、20代、30代の若者が旅行に出かける回数が増えている。このプロジェクトでは、本学学生と中国運輸局の20代の職員が連携し、若者の旅行離れ対策にプロジェクトでは、はじ

めに若者の旅行離れの現状を知るための共同勉強会を開催。次に、それぞれで実態や課題を分析し、解決策や若者を対象にした旅行プランなどを考案していく。定期的な情報や意見を交換し、最終的には、それぞれの企画した旅行プランを旅行会社に対してプレゼンテーションする。プレゼ

ンテーションの会場となるのは、宮島にある本学のゼミナールハウス「成風館」の予定だ。本学では、この取り組みを興動館プロジェクトとして実施している。また、本学前期授業科目「プロジェクトマネジメント」では、中国運輸局企画として「瀬戸内海の道構想」も、連携協定において重視される取り組み。これは瀬戸内海に点在する自然や歴史、文化などの地域資源を結びつけ、瀬戸内一体をPRし、エリア全体の魅力アップと地域産業の活性化を図るというものだ。この構想にも、本学は積極的に協力していく。このほか平成24年のNHK大河ドラマ「平清盛」と関連させて、清盛とゆかりのある瀬戸内海地域をアピールする取り組みに本学の学生が参加するなど、活動はさらに広がっていく予定だ。

多彩な活動を展開

本学で学ぶ留学生も観光振興に一役買っている。フランス、オランダ、韓国、中国などからの留学生が島

根拠の観光地を訪ね、海外の旅行者を受け入れる環境がどの程度整っているかをチェック。「街角にある観光案内板がわかりやすいか」など現場で感じたことをもとに改善策などを提案している。また、観光地のおすすめポイントなどをブログやツイッターなどで母国に発信するといった活動も行っている。

「興動人」の育成を目指して

広島経済大学が掲げる3つの教育方針

ディプロマポリシー (卒業認定、学位授与に関する方針)

広島経済大学は、建学の精神および立学の方針に基づき、真理を探究する力と豊かな人間性を備え、自らを愛し、勤労を尊び、自らの責任を受け止める、社会の発展に貢献できる人材の育成を目的とし、このような人材を「ゼロから立ち上げる」という育成目標として掲げています。経済学部では、この目的を達成するため、経済学の基礎知識と専攻分野に関する専門的能力および教養豊かな人間性を身につけるための教育課程を配しており、本課程を修了したのに対して卒業を認定し、学位を授与します。

①専門分野の知識と応用力

高度情報社会のビジネスに活用するための知識と応用力を身につけること。

②教養豊かな人間力

多様な経験の中で培った幅広い教養と協調性、自らの意見をわかりやすく正確に伝えるための能力を活かし、めまぐるしく変化する現代社会において、他者と支えあい、たくましく生き抜いていく力を身につけていくこと。

③キャリア教育

「夢」をもち、自己実現に向けて努力し、社会に貢献する意欲と能力を身につけること。



理想

「大学におけるキャリア教育」



松水 征夫

東日本大震災の影響で日本経済が混乱し、大学生諸君の就職事情が厳しくなっている。大学生の就職事情は、バブル崩壊による景気の長期低迷により十年前から様変わりし、当時は超水河期と言われていた。景気の回復に伴い就職率はやがて改善されたものの、リーマンショックによる景気停滞から再び就職事情が悪化して超水河期の再来が心配されている。

就職事情が厳しくなった理由は、企業の採用方針が変ったためである。以前

は、大学の卒業資格があれば、大学時代の成績と入社試験の成績により、成績重視の採用が行われていた。しかしながら経済のグローバル化に伴う企業を取り巻く競争環境の激化から、企業内で人材を育成するための研修・教育にコストをかけていく。人物重視の採用方針に変わってきている。

その一環として大学では、キャリア教育を導入するようになったこと、大学時代の取り組みが重視されるようになったこと、面接では、大学時代に打ち込んだ活動が問われ、その中で学生諸君が失敗を恐れずにいろいろなことに挑戦して、壁を乗り越えたと経験の有無が問われる。就職相談などを増やし

平成23年度(後期) 広島経済大学 特別客員教授による教養特別講義日程

講義統一テーマ「理論から実践へ」

学生に実社会を学んでもらうとともに、開かれた大学づくりの一環として開講している「教養特別講義」は、一般の方々にも公開しています(定員100名)。企業のトップをはじめ、文化・芸能分野などで活躍されている方々に各専門分野について講義していただきます。詳しくは8月28日以降、大学のwebサイトにてご案内します。

第1回 平成23年10月6日(金) 広島県庁 広島市長 松井 一実氏	第2回 平成23年10月19日(金) 広島県庁 広島県議会 議長 山本 英樹氏	第3回 平成23年10月27日(金) 広島県庁 広島県議会 議員 藤井 正一氏	第4回 平成23年11月10日(金) 広島県庁 広島県議会 議員 小谷 治氏	第5回 平成23年11月24日(金) 広島県庁 広島県議会 議員 石川 好氏	第6回 平成23年11月24日(金) 広島県庁 広島県議会 議員 アーサー・ビナード氏	第7回 平成23年12月1日(金) 広島県庁 広島県議会 議員 池谷 公二郎氏
第8回 平成23年12月6日(金) 広島県庁 広島県議会 議員 小川 和久氏	第9回 平成23年12月13日(金) 広島県庁 広島県議会 議員 温泉水 梅代氏	第10回 平成23年12月20日(金) 広島県庁 広島県議会 議員 荒尾 努氏	第11回 平成23年12月27日(金) 広島県庁 広島県議会 議員 川村 妙慶氏	第12回 平成23年12月27日(金) 広島県庁 広島県議会 議員 越智 裕一郎氏	第13回 平成23年12月27日(金) 広島県庁 広島県議会 議員 上田 宗尚氏	第14回 平成23年12月27日(金) 広島県庁 広島県議会 議員 内田 樹氏

させる一方で、学科の枠を越えた科目の履修を認め、履修順序および難易度を示す「入門」「基礎」「発展」「応用」という段階をわけて配置しています。学生には、所属学科の専門科目を学習

られる人材の育成を目指しています。①専門分野の知識と応用力 経済学部の教育課程は、前文の基本方針のもと、経済学の理論、歴史、政策、財政、金融など、幅広い経済学の基礎知識を幅広く教えることにより、理論的思考能力、現状分析能力、政策提言能力、企画提案能力を開発することを目的として編成されています。

【経済学】 経済学部の教育課程は、前文の基本方針のもと、経済学の基礎知識を幅広く教えることにより、理論的思考能力、現状分析能力、政策提言能力、企画提案能力を開発することを目的として編成されています。

【経営学】 経営学部の教育課程は、前文の基本方針のもと、経営学の基礎知識を幅広く教えることにより、理論的思考能力、現状分析能力、政策提言能力、企画提案能力を開発することを目的として編成されています。

【ビジネス情報学】 ビジネス情報学部の教育課程は、前文の基本方針のもと、ビジネス情報学の基礎知識を幅広く教えることにより、理論的思考能力、現状分析能力、政策提言能力、企画提案能力を開発することを目的として編成されています。

【アドミッションポリシー(入学受け入れ方針)】 広島経済大学は、本学の理念に共感し、大学生として必要な基礎学力を持ち、経済学および各学科の専門知識を志し、将来自らの責任を果たして社会に貢献することを願う、意欲あふれる前向きで行動的な学生を求めています。

【メディア・ビジネス】 メディア・ビジネスの教育課程は、前文の基本方針のもと、メディア・ビジネスの基礎知識を幅広く教えることにより、理論的思考能力、現状分析能力、政策提言能力、企画提案能力を開発することを目的として編成されています。

【国際地域経済学】 国際地域経済学の教育課程は、前文の基本方針のもと、国際地域経済学の基礎知識を幅広く教えることにより、理論的思考能力、現状分析能力、政策提言能力、企画提案能力を開発することを目的として編成されています。

【スポーツ経営学】 スポーツ経営学の教育課程は、前文の基本方針のもと、スポーツ経営学の基礎知識を幅広く教えることにより、理論的思考能力、現状分析能力、政策提言能力、企画提案能力を開発することを目的として編成されています。

【キャリア教育】 キャリア教育の教育課程は、前文の基本方針のもと、キャリア教育の基礎知識を幅広く教えることにより、理論的思考能力、現状分析能力、政策提言能力、企画提案能力を開発することを目的として編成されています。

【教養豊かな人間力】 教養豊かな人間力の教育課程は、前文の基本方針のもと、教養豊かな人間力の基礎知識を幅広く教えることにより、理論的思考能力、現状分析能力、政策提言能力、企画提案能力を開発することを目的として編成されています。

【経済学】 経済学の教育課程は、前文の基本方針のもと、経済学の基礎知識を幅広く教えることにより、理論的思考能力、現状分析能力、政策提言能力、企画提案能力を開発することを目的として編成されています。

【キャリア教育】 キャリア教育の教育課程は、前文の基本方針のもと、キャリア教育の基礎知識を幅広く教えることにより、理論的思考能力、現状分析能力、政策提言能力、企画提案能力を開発することを目的として編成されています。

【教養豊かな人間力】 教養豊かな人間力の教育課程は、前文の基本方針のもと、教養豊かな人間力の基礎知識を幅広く教えることにより、理論的思考能力、現状分析能力、政策提言能力、企画提案能力を開発することを目的として編成されています。

【経済学】 経済学の教育課程は、前文の基本方針のもと、経済学の基礎知識を幅広く教えることにより、理論的思考能力、現状分析能力、政策提言能力、企画提案能力を開発することを目的として編成されています。

平成22年度資金収支計算書

◆当該年度の現金預金(支払資金)の収入・支出を勘定科目別に集計したものです。
企業会計のキャッシュフローに類似したものです。

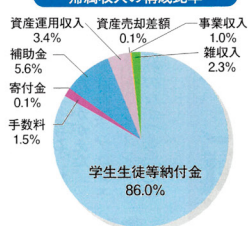
収入の部		支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
学生生徒等納付金収入	3,753,540,312	人件費支出	2,094,650,957
手数料収入	67,216,750	教育研究経費支出	749,004,120
寄付金収入	1,624,000	管理経費支出	364,564,488
補助金収入	246,246,647	施設関係支出	415,731,462
国庫補助金収入	245,768,500	設備関係支出	416,298,821
地方公共団体補助金収入	478,147	資産運用支出	2,492,832,967
資産運用収入	149,544,200	その他の支出	79,946,860
資産売却収入	1,889,585,550	資金支出調整勘定	△ 66,073,485
事業収入	41,779,961	次年度繰越支払資金	808,035,875
雑収入	98,374,583		
前受金収入	623,999,500		
その他の収入	65,998,277		
資金収入調整勘定	△ 823,993,064		
前年度繰越支払資金	1,241,075,349		
収入の部合計	7,354,992,065	支出の部合計	7,354,992,065

平成22年度消費収支計算書

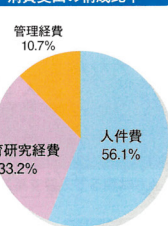
◆企業会計の損益計算書に類似するもので、収入超過や支出超過を明らかにし、当該年度の消費収入と消費支出の均衡状況を表したものです。

消費収入の部		消費支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
学生生徒等納付金	3,753,540,312	人件費	2,101,638,302
手数料	67,216,750	教育研究経費	1,242,889,858
寄付金	4,933,984	管理経費	401,524,771
補助金	246,246,647	資産処分差額	1,264,931
国庫補助金	245,768,500	徴収不能額	440,000
地方公共団体補助金	478,147		
資産運用収入	149,544,200		
資産売却差額	3,257,220		
事業収入	41,779,961		
雑収入	98,374,583		
帰属収入合計	4,364,893,657		
基本金組入額合計	△ 1,510,175,988		
消費収入の部合計	2,854,717,669	消費支出の部合計	3,747,757,862
当年度消費収入超過額	893,400,193		
前年度繰越消費収入超過額	5,250,403,310		
翌年度繰越消費収入超過額	6,143,443,503		

帰属収入の構成比率



消費支出の構成比率



貸借対照表(平成23年3月31日)

◆3月末現在の財産の状況を明らかにしたものです。

資産の部		負債の部	
科目	平成22年度末	科目	平成22年度末
固定資産	44,720,982,630	固定負債	756,491,204
有形固定資産	19,693,724,503	退職給付引当金	756,491,204
うち土地	4,023,922,940	流動負債	728,201,475
うち建物	9,839,129,176	うち前受金	623,999,500
うち教育研究用機器備品	281,784,719		
うち図書	4,923,024,870	負債の部合計	1,484,692,679
その他の固定資産	25,027,258,127	基本金の部	
うち2号基本金引当資産	9,900,000,000	第1号～第4号基本金	39,790,637,591
うち3号基本金引当資産	1,020,000,000	基本金の部合計	39,790,637,591
流動資産	911,710,757	消費収支差額の部	
うち現金預金	808,035,875	翌年度繰越消費収入超過額	4,357,363,117
		消費収支差額の部合計	4,357,363,117
		負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計	45,632,693,387
資産の部合計	45,632,693,387		

平成23年度資金収支予算書

単位:円

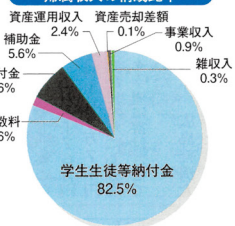
収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
学生生徒等納付金収入	3,556,900,000	人件費支出	2,077,300,000
手数料収入	68,000,000	教育研究経費支出	773,500,000
寄付金収入	28,000,000	管理経費支出	304,500,000
補助金収入	240,500,000	施設関係支出	213,000,000
国庫補助金収入	240,000,000	設備関係支出	172,000,000
地方公共団体補助金収入	500,000	資産運用支出	2,700,000,000
資産運用収入	105,000,000	その他の支出	24,200,000
資産売却収入	2,220,000,000	予備費	105,000,000
事業収入	37,000,000	資金支出調整勘定	△ 25,000,000
雑収入	15,000,000	次年度繰越支払資金	593,800,000
前受金収入	593,800,000		
その他の収入	84,100,000		
資金収入調整勘定	△ 603,800,000		
前年度繰越支払資金	593,800,000		
収入の部合計	6,938,300,000	支出の部合計	6,938,300,000

平成23年度消費収支予算書

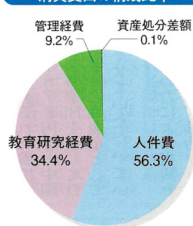
単位:円

消費収入の部		消費支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
学生生徒等納付金	3,556,900,000	人件費	2,087,300,000
手数料	68,000,000	教育研究経費	1,274,100,000
寄付金	284,000,000	管理経費	340,800,000
補助金	240,500,000	資産処分差額	3,000,000
国庫補助金収入	240,000,000	予備費	55,000,000
地方公共団体補助金収入	500,000		
資産運用収入	105,000,000		
資産売却差額	6,000,000		
事業収入	37,000,000		
雑収入	15,000,000		
帰属収入合計	4,312,400,000		
基本金組入額合計	△ 1,336,000,000		
消費収入の部合計	2,976,400,000	消費支出の部合計	3,760,200,000
当年度消費収入超過額	△ 783,800,000		
前年度繰越消費収入超過額	4,212,203,310		
翌年度繰越消費収入超過額	3,428,403,310		

帰属収入の構成比率



消費支出の構成比率



石田記念体育館で挙行政入式

平成23年度入式は、4月1日(平成23年度入学式)が、石田記念体育館において、多数の保護者、来賓出席のもと執り行われ、経済学部882人(経済学部経済学科82人、経済学部経済学科6人)が本学で学生生活を開始した。

平成23年度入式は、4月1日(平成23年度入学式)が、石田記念体育館において、多数の保護者、来賓出席のもと執り行われ、経済学部882人(経済学部経済学科82人、経済学部経済学科6人)が本学で学生生活を開始した。

入学式挙行政

同窓会留学生奨学生決定



王作文さん

出身の王作文さん(オウ・サクブン/経営学科3年)に決定した。

◆王さんの話◆

私は優秀な経営者になるため、経済学・経営学の専門である広島経済大学で経営学を専攻し学んでいます。なぜなら、日本は数々の先進国であり、その経済力は、アジアだけでなく、世界の中でもトップクラスだと思うからです。

奨学生に選ばれたことは、物価の高い日本で一人暮らしをする私にとって、本当に嬉しいことでも助かります。感謝の気持ちとは裏腹に一言では言い表せませんが、感謝の念で一杯です。そして同時に、この3年間の努力が報われたと思います。

私の将来の夢は、自分の力で会社を立ち上げることです。そのため、自分の夢に向かって、今後もしっかり勉強して、頑張っていきたいと思っています。

本学では、毎年高等学校の先生方を対象に、本学の現況や入試制度について理解していただき、今後の進路指導に役立ててもらおうと、大学説明会を実施している。



キャンパスライフレポートの様子

今年度は本学会場をはじめ、山口、岡山、松山、福山会場において開催し、合わせて93校101名に出席いただいた。

説明会は、前川一学長の挨拶から始まり、大学の現況報告、平成24年度入試要項説明、学生からのキャンパスライフレポートの発表、最後に質疑応答および個別相談を行った。

平成23年度大学説明会開催

平成23年度は、毎年高等学校の先生方を対象に、本学の現況や入試制度について理解していただき、今後の進路指導に役立ててもらおうと、大学説明会を実施している。

今年度は本学会場をはじめ、山口、岡山、松山、福山会場において開催し、合わせて93校101名に出席いただいた。

平成23年度保護者会春季役員会開催

平成23年度保護者会春季役員会が、川妻保護者会会長の挨拶に続き、平成22年度の事業報告、会計報告並びに監査報告があり、全員異議なく承認された。その後、新役員・顧問および教職員が紹介された後、平成23年度の事業計画(案)・予算(案)が提案され、全員異議なく原案どおり承認された。

続いて前川学長(名誉会長)から各部署をとりまとめ、学生の退学に関する状況説明、最近の就職状況、進路就職支援プログラム、今年度の入試状況、クラブ等の主な活動状況について、学事報告がなされ、役員会を終了した。

役員会終了後の懇親会では、本学がテレビで取り上げられたものの一部をビデオにまとめ紹介、和気あいあいのうちに終了した。

午後からは、各学科に分かれてのガイダンス、また保護者対象の教育懇談会や施設見学ミニツアーなどが行われ、学内は一日中賑わいを見せた。

松野光希さん(経済学科・岡山県/倉敷高校出身)が、大学院を代表して木村直哉さんがそれぞれ新入生の宣誓をした。

◆◆◆

大学歌を合唱し、厳粛裡のうちに終了した。

– 620 –